

## 令和4年度 公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

当法人の目的である“ふくしまの未来を担う青少年の健やかな成長と、女性も男性も個人として尊重され、互いに支えあい、共に責任を担う社会づくり”を目指して、法人経営計画及び年度事業計画に基づき事業を行ってまいりました。

また、福島県青少年会館及び福島県男女共生センターそれぞれが、施設の効率的・効果的な運用に努め、設立趣旨に沿った事業を積極的に展開するとともに、相互に連携しながら運営の充実に努めてまいりました。

さらに、公益財団法人としての使命や役割を踏まえ、より一層公益性を高めた運営に努めてまいりました。

### 1. 評議員会に関する事項

回	期 日	審 議 事 項	結果
臨 時	令和4年 4月21日	議案第1号 評議員の辞任に伴う補欠選任について (決議の省略)	可決
定時(第1回)	令和4年 6月14日	議案第1号 令和3年度事業報告について 議案第2号 令和3年度収支決算について 議案第3号 理事の辞任に伴う補欠選任について	可決 可決 可決
第2回	令和5年 3月14日	議案第1号 令和4年度収支補正予算について 議案第2号 令和5年度事業計画について 議案第3号 令和5年度収支予算について 議案第4号 資金調達及び設備投資の見込みについて 議案第5号 組織及び管理運営に関する規則の一部改正について 議案第6号 給与規程の改正について 議案第7号 経営計画(令和5年度～9年度)について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

### 2. 理事会に関する事項

回	期 日	審 議 事 項	結果
臨 時	令和4年 4月13日	議案第1号 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について(決議の省略)	可決
第1回	令和4年 5月25日	議案第1号 令和3年度事業報告について 議案第2号 令和3年度収支決算について 議案第3号 令和4年度定時評議員会の開催について	可決 可決 可決

		議案第4号 理事の辞任に伴う補欠選任者の推薦について 議案第5号 理事の役職の決定について	可決 可決
第2回	令和4年 11月30日	議案第1号 青少年会館の運営について 議案第2号 青少年会館施設使用規程の一部改正について	可決 可決
第3回	令和4年 3月14日	議案第1号 令和4年度収支補正予算について 議案第2号 令和5年度事業計画について 議案第3号 令和5年度収支予算について 議案第4号 資金調達及び設備投資の見込みについて 議案第5号 組織及び管理運営に関する規則の一部改正について 議案第6号 給与規程の一部改正について 議案第7号 経営計画（令和5年度～9年度）について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

### 3. その他の事項

期 日	事 項
令和4年 5月19日	令和3年度会計及び業務執行状況の監査執行
令和4年 5月10日	令和4年度第1回法人経営会議 (1) 令和3年度事業報告（法人・会館、共生センター）案について (2) 令和3年度収支決算（法人・会館、共生センター）案について (3) 理事の辞任に伴う補欠選任者の推薦案について (4) 理事の役職決定案について (5) 経営計画策定ワーキンググループの経過報告
令和4年 8月2日	令和4年度第2回法人経営会議 (1) 令和3年度事業実績（事業報告・収支決算）の課題について (2) 二館の今年度経営概況（4年6月末日）について (3) 経営計画策定ワーキンググループ経過報告について
令和4年 11月1日	令和4年度第3回法人経営会議 (1) 令和4年度上半期の経営状況について (2) 経営計画策定ワーキンググループ経過報告について
令和4年 12月13日	令和4年度第4回法人経営会議 (1) 経営計画策定ワーキンググループ経過報告について
令和5年 3月7日	令和4年度第5回法人経営会議 (1) 令和4年度第3回理事会議案（事業計画・収支予算等）について (2) 経営計画（令和5年度～9年度）について

# 令和4年度 事業実績報告書

“ふくしまの未来を担う青少年の健やかな成長と、女性も男性も個人として尊重され、互いに支えあい、共に責任を担う社会づくり”に貢献することをモットーに、「法人経営計画」に基づいて各種事業に取り組みました。

また、公益財団法人としての役割と責務を十分に踏まえるとともに、福島県の施策との関連性の維持、深化を図り、活動拠点である福島県青少年会館と福島県男女共生センターの連携を強化しながら、公益性を一層高めた法人運営に努めました。

さらに、震災・原発事故から11年が経過し、県内各地で復興・創生のための様々な取組みが進められる中、当法人としても、新型コロナウイルス感染防止を図りながら、事業活動を通して引き続き本県の復興・創生に寄与するよう努めました。

## ◎ 福島県青少年会館の主な事業

青少年会館の運営に当たりましては、少子・高齢化や高度情報化の進展、就業形態の多様化など、青少年を取り巻く社会環境の変化を踏まえ、青少年の健全育成と子ども・若者への支援を柱とした事業を推進しました。

特に、青少年団体、企業、NPOなどとの連携の下、子ども・若者の健やかな育成に向けた活動や、困難を抱える子ども及びその家族を応援する活動、子育て世代への支援活動などを推進するとともに、広く情報を発信して、青少年活動の拠点である当館に対する理解を深めていただくよう努めました。

また、福島県からの委託により運営している「ふくしま結婚・子育て応援センター」につきましては、結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の運用を始めとする事業内容の充実を図り、県内企業、団体等からの御支援・御協力をいただきながら、若者・子育て世代への幅広いサポート活動を展開しました。

施設整備につきましては、利用者の安全・安心の確保及び快適性向上のため、必要な整備を行いました。

こうしたソフト・ハード両面にわたる事業を着実に実施するため、職員一丸となって当館施設の利用促進を図るとともに、安全かつ効率的な施設の管理・運営を心がけながら、財務基盤の強化、経営の安定化に努めました。

### 1 青少年会館管理運営事業

#### (1) 経営計画の着実な実行

経営計画（平成30年度～令和4年度）に沿って、令和4年度においても当館に求められる使命と役割、施設の安全・安心の確保、経営の安定化に向けた財源確保などの諸課題を踏まえながら、計画目標の着実な達成を目指して努力しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の低迷が続き、宿泊室の稼働率が5.3%にとどまるなど、厳しい経営となりました。

## (2) 施設利用の促進

施設利用促進のため、「あったかサービス実践運動」に引き続き取り組み、真心のこもったサービス提供に努め、利用者満足度の向上を図りました。

広報活動では、ホームページや案内パンフレットを活用し、青少年活動のための拠点としての当館の機能を積極的にPRしました。

また、小研修室の廃止に伴い、宿泊室の一部を少人数向けの会議室として整備するなど、利用しやすい環境づくりに努めました。

## (3) 業務の見直しによる経費の節減等

利用者に対するサービスの維持・向上に配慮しながら、経費の節減に向け、業務全般にわたり不斷の見直しを行いました。

特に、施設設備の保守管理や修繕、植栽や環境美化等については、可能な限り職員で対応し、経費の節減に努めました。

## (4) 施設設備の維持補修

近年は、耐震補強工事等、主要部分の改修に加え、身障者用トイレの多目的トイレへの改修など、利用者の安全安心に配慮した改修工事を順次、行ってきたところです。

令和4年度は、大研修室系統冷温水発生機改修工事を始め、浄化槽蓋枠交換工事など、優先的に対応すべき修繕工事を実施しました。

## 2 福島県青少年育成県民会議連携事業

### (1) ふくしま青少年育成セミナー

青少年を取り巻く社会環境の変化に加え、本県の青少年が抱える様々な課題についての理解を深め、青少年と向き合う大人や親の心構え、姿勢などについて考えるためのセミナーを、福島県青少年育成県民会議と共に実施しました。

事業名	ふくしま青少年育成セミナー
対象者	① 現在子育て中の方や、青少年の育成に関心のある方 ② 青少年育成団体やPTA、地域団体の指導者など
主な内容	第1回　日時 令和4年5月23日（月） テーマ 「スマホにおけるトラブルや犯罪の現状」 講師 大人の応援講座講師 根本雅昭 氏 参加者 50名 第2回　日時 令和4年10月22日（土） テーマ 「ネット社会と若者」 講師 医療創生大学心理学部教授 福島県警察サイバー犯罪対策アドバイザー 中尾 剛 氏 参加者 47名

	<p>第3回　日 時 令和4年11月12日（土）</p> <p>テーマ 「思春期における発達と行動」</p> <p>講 師 福島大学人間発達文化研究科特任教授 安部郁子 氏</p> <p>参加者 40名</p>
	<p>第4回　日 時 令和5年1月29日（日）</p> <p>テーマ 「大人・子どもを元気にする魔法の処方箋」</p> <p>講 師 福島県立医科大学医学部疫学講座主任教授 日本笑い学会理事 大平哲也 氏</p> <p>参加者 40名</p>

## （2）各種大会等への運営協力

福島県青少年育成県民会議が主催する「少年の主張福島県大会」や福島県青少年健全育成推進大会を始め、「家庭の日」作文、絵画・ポスター作品募集の審査や優秀作品の館内掲示など、県民会議が行う事業に対して運営面も含め協力しました。

## 3 情報収集、提供事業

### （1）ホームページ利活用促進事業

当館が実施する各種事業を始め、青少年健全育成活動や青少年の社会参加活動に関する情報を提供するとともに、当館施設の利用促進に向けて、ホームページによる情報発信に努めました。

また、的確な情報を提供するため、職員のパソコン操作技能の向上を図りながら、関係機関・団体との連携を密にして、タイムリーな情報の収集・発信に努めました。

事 業 名	ホームページ利活用促進事業
主 な 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ホームページの適切な管理・運営</li> <li>② 法人組織や事業計画、事業報告等の公表</li> <li>③ 青少年育成事業の紹介や参加呼びかけ</li> <li>④ 青少年会館の施設紹介と利用呼びかけ、予約状況の案内</li> </ul>

### （2）青少年情報ステーション事業

県内市町村や関係機関の協力を得ながら、青少年に関するイベント情報や子ども・若者支援に関する情報などに関するチラシやポスターを収集して館内の専用スペースに設置・掲示し、情報発信しました。

事 業 名	青少年情報ステーション事業
主 な 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 青少年に関する各種情報や資料の収集</li> <li>② 資料の展示や掲示、配布</li> <li>③ 県内市町村や関係機関との連携</li> </ul>

### (3) 青少年育成活動の企画支援及び指導者等紹介あっせん事業

青少年の健全育成に関する各種団体が開催する地域活動、青少年の研修活動、レクリエーション活動などへの支援の一環として、福島県青少年育成県民会議など関係機関や団体と連携して青少年育成関連セミナーの講師の紹介などを行いました。

## 4 青少年健全育成事業

### (1) ふれあいキッズ・プログラム事業

子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、また、震災・原発事故による様々な影響が残る中で、子どもたちに、大人と一緒に楽しみ、交流を深める場を提供し、地域や家族との絆を深めるきっかけにしてもらうためのイベントとして開催してきました。

当事業は、基本テーマである「体験」をキーワードに据えて、福島県青少年育成県民会議を始め、趣旨に賛同する団体や企業、NPO法人などに広く参加、協力を呼びかけて実施する予定でしたが、令和4年度も、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、令和2、3年度に続き、やむなく中止しました。

### (2) すぎのめこども宿(やど)事業

地域の子どもたち（小学校高学年）を対象に当館の宿泊研修施設や福島市杉妻学習センターを利用する体験型の宿泊訓練事業を実施してきました。

令和4年度も、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、令和2、3年度に続き、やむなく中止しました。

### (3) 「夏の思い出」ものづくり体験事業

県を代表する伝統工芸品の一つ「会津本郷焼」窯元の陶芸家を指導者にお迎えし、主に小学校高学年を対象に、小皿や茶碗等を作る陶芸教室を開催しました。

この事業は、地域の伝統に触れながら、「ものづくり」の作業をとおして、製作過程の課題解決や、作品完成時の達成感を体験してもらうものです。

事 業 名	「夏の思い出」ものづくり体験事業
参 加 者	小学4年～中学2年生 17名
主 な 内 容	指導者：会津本郷焼 宗像窯9代目 宗像利訓 氏 会 場：福島県青少年会館 期 日：令和4年7月23日（土）

### (4) 福島っ子ガンバレ・レクリエーション普及事業

レクリエーションをとおして世代間交流の機会を提供し、子どもたちに「元気と笑顔」を届けるための応援事業を実施しました。

参加者の交流と親睦を深めるため、誰でも楽しめる知的卓上ゲーム「マンカラ」の

講習会と競技会を組み合わせて、福島県レクリエーション協会との共催で実施しました。

事業名	福島っ子ガンバレ・レクリエーション普及事業
参加者	小中学生：37名　一般：18名
主な内容	① マンカラ競技の講習会 ② マンカラ交流選手権大会 会場：福島県青少年会館 期日：令和5年3月4日（土）

#### (5) 青少年活動支援事業

##### ① 青少年育成活動助成事業

青少年の健全育成を目的として、当館施設を利用した宿泊体験活動や社会体験活動、自然体験活動などのプログラムに取り組む団体を対象に、活動経費の一部を助成し、当該団体による青少年健全育成活動を支援するものです。

事業名	青少年育成活動助成事業
対象者	当館を利用する子ども会、各種青少年団体、青少年関係NPOなど
主な内容	① 助成を希望する団体を公募しその適格を審査。 ② 活動内容を精査の上、予算の範囲内で規定に沿って助成。 1団体 助成額17,785円

##### ② 「成果発表・作品展示」支援事業

青少年が自ら活動している団体や、青少年の健全育成に取り組んでいる団体の活動成果を発表する場として、当館のロビーや研修室、ピロティなどを提供する事業です。絵画や書道等の作品を展示するためのスペースを無償で提供しました。

事業名	「成果発表・作品展示」支援事業
対象者	学校のクラブ活動、地区子ども会、地域や職場のサークルなどの青少年団体及び青少年健全育成を推進している団体 (営利活動、政治活動、宗教活動等を目的とする団体は除く)
主な内容	青少年が制作した様々な作品の展示スペースを青少年会館内に用意して提供することで、来館者を始めとする多くの方に作品を紹介するとともに、青少年の更なる制作活動を促進。

### ③青少年会館ボランティア団体活動支援事業

当館が実施する事業などにボランティアとして参加・協力できる団体を対象に、青少年育成等の活動を支援するものです。令和4年度は該当ありませんでした。

## (6) 関係団体連携強化事業

当館施設を利用して研修や合宿を実施する団体のプログラムが効果的・効率的に運営できるよう支援するとともに、当館に入居している青少年関係団体等の活動が一層促進されるよう、支援しました。

### ① 当館の宿泊・研修施設を利用する団体

当館施設を利用する団体が、利用目的を達成できるよう可能な限り協力、支援し、それぞれのプログラム等が円滑に進められるよう努めました。

### ② 各種青少年関連団体等

当館施設建設運動を主導した福島県青少年団体連絡協議会を始め、当館の入居団体（ボーイスカウト福島連盟、ガールスカウト福島県連盟、福島県PTA連合会、福島県高等学校PTA連合会、NPO法人福島県レクリエーション協会）、青少年活動に関する団体、施設、法人等と連携を深め、これらの団体等の取組や事業に対して積極的に共催や後援を行うとともに、各団体等が行うイベントの告知や参加者募集、活動紹介等について、情報コーナーへの掲示などにより支援しました。

## 5 子育てファミリー支援事業

### (1) 子育て支援パスポート事業

子育て世代の保護者が、子どもを伴って当館に宿泊する際に、「子育て支援パスポート」（福島県版：「ファミたんカード」）を窓口に提示することで、宿泊料を割引きする支援事業を実施しました。

事 業 名	子育て支援パスポート事業
対 象 者	18歳未満の子どもを同伴して宿泊する保護者で、子育て支援パスポート（「ファミたんカード」など）を提示した人
主 な 内 容	子育て支援パスポート（「ファミたんカード」）の提示により通常成人宿泊料を割り引いて青少年料金を適用。 3名 割引額4,620円

## 6 ふくしま結婚・子育て応援センター運営事業

結婚を望む人が結婚でき、誰もが安心して子どもを生み育てることのできる環境を整備するため、福島県からの委託を受け、ふくしま結婚・子育て応援センターを運営し、結婚から子育てまでを支援する様々な事業に取り組みました。

### (1) 相談業務

「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」に関する相談員を配置し、電話・面談・メールにより相談に応じるほか、必要に応じて関係専門機関と連携を図りながら対応しました。

事 業 名	結婚、妊娠・出産、子育て相談
対 象 者	一般県民
主 な 内 容	<p>1. 結婚から子育てまで各段階に対応し、面接による直接相談と電話、メールでの相談</p> <p>2. 妊娠・出産、子育てに関しては、関係専門機関と連携を図りながら対応            「結婚」相談 ······ 世話やき人が担当            「妊娠・出産」、「子育て」相談 ··· 保育士等の資格のある世話やき人及び福島県助産師会が担当</p> <p>3. 相談日            結婚分野 ······ 木・土曜日            妊娠、出産分野 ··· 火曜日            子育て分野 ······ 木曜日</p> <p>4. 相談利用件数                    3, 418 件            うち結婚分野                    3, 128 件            妊娠・出産分野                    172 件            子育て分野                    118 件</p> <p>5. 子育てファミリーへの支援            ① ベビーマッサージ 12回開催 74組            ② リフレッシュ体操 10回開催 51組            ③ ベビーままカフェ 22回開催 29組            ④ キッズままカフェ 43回開催 84組</p>

### (2) 「世話やき人」の養成及び市町村との業務連携

「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」について助けを必要とする方々を支援するため、様々な支援をボランティア活動で行う「世話やき人」を養成しそのスキルアップを図るため、研修会や情報交換会を開催しました。

また、地域に根ざした結婚支援網の強化に向けて、市町村の結婚ボランティアとの連携に努めました。

事 業 名	「世話やき人」の養成及び市町村との業務連携
対 象 者	一般県民

主　な　内　容	① 人材の掘り起こしと登録の促進
	② 「世話やき人」の養成
	③ 世話やき人登録者数 104人（令和5年3月31日現在） 世話やき人延べ人数 138人 うち結婚分野 98人
	妊娠・出産分野 12人 子育て分野 28人
	④ 関係実績（令和5年3月31日現在） 世話やき人による成婚数 34組（累計170組） 世話やき人研修会 18回実施 世話やき人情報交換会 25回実施

### (3) ふくしま結婚サポーター企業との連携強化

社会全体で結婚を希望する独身男女の出会い等を応援するため、結婚支援の取組を推進する企業や団体等（以下、「ふくしま結婚サポーター企業」という。）の掘り起しに努めました。

また、登録済のサポーター企業に対しては、応援センター事業等を周知することにより企業との連携を深めました。

事　業　名	ふくしま結婚サポーター企業の掘り起こし等
対　象　者	一般県民
主　な　内　容	ふくしま結婚サポーター企業の登録数（令和5年3月31日現在） 新規登録数 2団体 累計登録数 449団体

### (4) 婚活イベントの開催

自然な出会いや結婚へのきっかけづくりのため、「はび福なび」会員や世話やき人登録者、サポーター企業従業員等を対象とした婚活イベントを開催しました。

また、県が主催していたオンライン婚活応援サイトを引き継ぎ、新たに婚活イベント会員制度を創設しました。

事　業　名	婚活イベントの開催
対　象　者	一般県民
主　な　内　容	① 婚活イベントの開催 17回開催、参加者数 225人 ② オンライン婚活交流会・セミナーの開催 30回開催、参加者数 259人

主な内容	③ 婚活イベント会員制度」の創設 令和4度末現在会員数 248名
------	-------------------------------------

(5) ふくしま結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の運営

平成29年2月に導入した「はぴ福なび」の登録会員を募集し、結婚を希望する男女に対して個別の出会いの機会をサポートしました。

また、Web広告等の活用により「はぴ福なび」の一層の周知を図るとともに、会員への活動サポートを強化し、登録者の拡大、成婚率のアップに努めました。

事業名	ふくしま結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の運営										
対象者	一般県民										
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① システムの管理・運営</li> <li>② システム登録会員の募集及び出張登録会の開催</li> <li>③ システム登録会員のフォローアップ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員限定の交流会やセミナーの開催</li> <li>・世話やき人によるアドバイスの実施</li> </ul> </li> <li>④ Web広告等による広報活動</li> <li>⑤ 会員向け活動サポート動画の配信</li> <li>⑥ 関係実績           <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">登録会員数（令和5年3月31日現在）</td> <td style="width: 60%;">1,640人</td> </tr> <tr> <td>紹介数</td> <td>47,038人（累計 222,890人）</td> </tr> <tr> <td>お見合成立数</td> <td>1,515人（累計 7,798人）</td> </tr> <tr> <td>成婚退会者数</td> <td>62人（累計 346人）</td> </tr> <tr> <td>出張登録会（県内各方部で）</td> <td>21回</td> </tr> </table> </li> </ul>	登録会員数（令和5年3月31日現在）	1,640人	紹介数	47,038人（累計 222,890人）	お見合成立数	1,515人（累計 7,798人）	成婚退会者数	62人（累計 346人）	出張登録会（県内各方部で）	21回
登録会員数（令和5年3月31日現在）	1,640人										
紹介数	47,038人（累計 222,890人）										
お見合成立数	1,515人（累計 7,798人）										
成婚退会者数	62人（累計 346人）										
出張登録会（県内各方部で）	21回										

(6) 市町村へのスーパーバイザー等派遣事業

市町村の婚活支援事業の取組に対して、スーパーバイザー・世話やき人等を派遣して結婚支援に関する助言を行うほか、複数市町村が連携して取り組む広域的な婚活事業の展開を支援しました。

事業名	市町村へのスーパーバイザー等派遣事業
対象者	市町村
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市町村等訪問事業           <p>各地方振興局及び関係市町村を訪問し、意見交換、情報収集に努めた。</p> </li> <li>② 市町村が取り組む婚活支援事業への支援、助言等           <p>イベント企画、対策協議会等への参画</p> </li> </ul> <p>①+② 年間活動実績 延べ24回</p>

#### (7) ふくしまイクメン事業

安心して出産・子育てできる環境づくりを推進するため、プレパパ及び子育て中の男性の積極的な子育てを後押しする様々な事業を実施しました。

事 業 名	ふくしまイクメン事業
対 象 者	一般県民
主 な 内 容	<p>① プレパパ、子育て中の男性等を対象としたセミナーの開催 ② セミナーの開催と併せた相談会の開催 　　県内 5 方部で延べ 6 回開催 　　参加者数 53 家族 121 人</p>

#### (8) 「結婚・子育て」支援に関する情報発信・提供

スマートフォンへの最適化やSNSとの更なる連携強化を図るためホームページを全面リニューアルし、これまで以上に広く情報発信に取り組むほか、当館2階に専用の「情報コーナー」を設置し、県内における結婚から子育てまでに関する様々な情報を提供しました。

# 福島県青少年会館利用状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## 1. 研修室

室名	使用可能日数	使用日数	日数使用率(%)	使用可能単位数	使用単位数	単位使用率(%)	収入額(円)
大研修室	359	164	45.7%	1,076	288	26.8%	5,738,573
小研修室							
第1研修室	359	208	57.9%	1,076	377	35.0%	3,646,174
第2研修室	359	170	47.4%	1,076	294	27.3%	2,574,970
第3研修室	359	214	59.6%	1,076	324	30.1%	1,492,820
第5研修室	359	159	44.3%	1,076	262	24.3%	1,959,622
第6研修室	359	234	65.2%	1,076	415	38.6%	1,488,810
和室等	-	-	-	-	296	-	1,070,740
合計	2,154	1,149	53.3%	6,456	2,256	34.9%	17,971,709

## 2. 宿泊室

室名	使用可能日数	使用日数	部屋稼働率(%)	使用可能人數	使用人數	定員稼働率(%)
301	358	72	20.1%	1,790	136	7.6%
302	358	72	20.1%	1,790	153	8.5%
303	358	36	10.1%	3,580	211	5.9%
305	358	52	14.5%	1,790	131	7.3%
306	358	53	14.8%	1,790	102	5.7%
401						
402	358	40	11.2%	1,790	78	4.4%
403	358	76	21.2%	1,790	118	6.6%
405	358	55	15.4%	1,790	90	5.0%
406	358	68	19.0%	716	72	10.1%
407	358	96	26.8%	716	109	15.2%
大広間A	358	22	6.1%	5,728	175	3.1%
大広間B	358	22	6.1%	5,728	162	2.8%
合計	4,296	664	15.5%	28,998	1,537	5.3%

## 令和4年度 月別利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	構成比
研修室	営業単位数	540	558	540	558	558	540	558	540	498	504	504	558	6,456	—
青少年	利用率(%)	47	42	44	36	61	50	43	84	61	36	42	41	587	26.0%
一般	利用率(%)	128	135	183	172	101	145	184	128	107	113	119	154	1,669	74.0%
計	利用率(%)	175	177	227	208	162	195	227	212	168	149	161	195	2,256	100.0%
体育館	営業時間数	360	372	360	372	372	360	372	360	332	336	336	336	372	4,304
青少年	利用率(%)	172	190	180	173	181	212	215	200	176	214	196	248	2,357	84.8%
一般	利用率(%)	28	37	39	22	21	53	48	48	23	30	37	423	15.2%	
計	利用率(%)	200	227	217	212	203	233	268	248	224	237	226	285	2,780	100.0%
宿泊利	営業人數	2,430	2,511	2,430	2,511	2,511	2,430	2,511	2,430	2,187	2,268	2,268	2,511	28,998	—
小・中学生	利用率(%)	25	67	43	58	24	30	1	20	0	8	13	31	320	20.8%
青少年	利用率(%)	18	283	124	80	102	57	0	2	12	1	0	189	868	56.5%
一般	利用率(%)	45	10	54	48	28	31	109	12	0	0	9	3	349	22.7%
計	利用率(%)	88	360	221	186	154	118	110	34	12	9	22	223	1,537	100.0%
															—

(注)12月28日は、研修室及び体育館の利用時間は17時まで、宿泊は使用できません。

## 過去5か年利用者区分別 利用状況集計表

年 度		平成30年度		令和元年度		令和2 年度		令和3 年度		令和4 年度	
内訳 利用者区分	合計	構成比 (件・時間・人)	合計	構成比 (件・時間・人)	合計	構成比 (件・時間・人)	合計	構成比 (件・時間・人)	合計	構成比 (件・時間・人)	
	青少年	999	37.8%	1,115	38.4%	1,012	40.1%	903	34.4%	587	26.0%
研修室	一般	1,646	62.2%	1,789	61.6%	1,512	59.9%	1,719	65.6%	1,669	74.0%
	合 計	2,645	100.0%	2,904	100.0%	2,524	100.0%	2,622	100.0%	2,256	100.0%
	利用率(%) (利用件数/ 21件×稼働日) ※R4は18件	44.6%		38.4%		33.5%		34.8%		34.9%	
		(稼働日数359日)	(稼働日数360日)	(稼働日数359日)	(稼働日数359日)	(稼働日数359日)	(稼働日数359日)	(稼働日数359日)	(稼働日数359日)		
	青少年	2,173	74.6%	2,279	77.0%	2,118	86.0%	2,580	84.8%	2,357	84.8%
体育館	一般	740	25.4%	681	23.0%	346	14.0%	461	15.2%	423	15.2%
	合 計	2,913	100.0%	2,960	100.0%	2,464	100.0%	3,041	100.0%	2,780	100.0%
	利用率(%) (利用時間数/ 12時間×稼働日)	67.6%		68.5%		57.2%		70.6%		64.6%	
		(稼働日数359日)	(稼働日数360日)	(稼働日数359日)	(稼働日数359日)	(稼働日数359日)	(稼働日数359日)	(稼働日数359日)	(稼働日数359日)		
	小・中学生	766	22.7%	747	19.7%	135	15.3%	50	13.1%	320	20.8%
宿泊	青少年	1,507	44.7%	1,621	42.7%	372	42.1%	148	38.7%	868	56.5%
	一般	1,102	32.7%	1,428	37.6%	377	42.6%	184	48.2%	349	22.7%
	合 計	3,375	100.0%	3,796	100.0%	884	100.0%	382	100.0%	1,537	100.0%
	利用率(%) (利用人数/ 86人×稼働日) ※R4は81人	14.1%		12.2%		2.9%		1.3%		5.3%	
		(稼働日数303日)	(稼働日数359日)	(稼働日数358日)	(稼働日数358日)	(稼働日数358日)	(稼働日数358日)	(稼働日数358日)	(稼働日数358日)		

(備考)宿泊利用の小・中学生には、幼児を含んでいます。

# 福島県男女共生センター事業実施状況

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

福島県男女共生センターでは、本県の男女共同参画の実現をめざす拠点施設として広く県民に利用されるよう機能の充実に努めるとともに、男女共同参画に関する様々な情報を発信する情報事業、男女の自立と社会参加を促進するための自立促進事業、自主的な交流を支援する交流関連事業などを実施しました。

## 1 管理運営事業

男女共同参画社会実現のための実践的活動拠点として、センターの3つの機能（情報機能、自立促進機能、交流機能）を十分発揮できるよう、効果的・効率的な施設の管理・運営に努めたほか、原子力災害により避難された方に対し、避難により困難になっている地域コミュニティ活動の維持や地域生活における絆を深める活動を支援するため、宿泊料助成を実施するなど、東日本大震災の被災地・被災者の支援に取り組みました。

また、多くの人々に親しまれ、利用しやすい施設を目指して、広報用リーフレットの作成・配布及び研修室や宿泊室等施設設備の一部改修等の環境整備を行い、利用促進に努めました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した施設利用については、回復傾向は見られますが、引き続き広報等による利用促進を図る必要があります。

※令和4年度 施設利用状況 別紙のとおり

## 2 情報関連事業

男女共同参画についての情報、専門図書、資料などを収集・提供し、男女が新しいパートナーシップを確立するための自己啓発及び活動等を支援しました。

また、情報ネットワークの充実を図るとともに、県外男女共同参画施設の協力を得て、県内外に広く情報を発信しました。

### (1) 情報事業

#### ア 図書室運営

図書室において、男女共同参画社会形成の促進に寄与する図書や資料等約4万点を備え、閲覧及び貸出により利用に供しました。

内 容	・令和4年度来室者人数 16,641人 ・購入図書・資料の選定 令和4年度購入図書 164冊 ・図書・資料の収集、分類、整理並びに貸出、返却管理 図書貸出利用者数 延べ 1,630名 図書貸出冊数 延べ 4,169冊（うちDVD等7点） ・レファレンスサービス件数 延べ 979件
-----	--

#### イ 情報提供

センターの活動内容をはじめとする男女共同参画に関する情報を、ホームページ及びメールマガジン（月1回発行）により提供しました。

内 容	・センターホームページアクセス件数 延べ 146,949件 ・センターメールマガジン配信件数（月1回） 864件 (令和5年3月末現在)
-----	--

#### ウ 広報活動

男女共同参画の考え方や、センターの活動内容について、広報誌「未来館 NEWS」を発行し紹介するとともに、県政広報その他各種媒体を活用し、普及啓発・周知を図りました。

内 容	広報誌「未来館 NEWS」第82号～84号発行 各5,000部 県内の図書館、公民館、高等学校、市町村担当課、各都道府県担当課、全国の男女共同参画施設及び各種関係団体などに送付
-----	---

#### (2) 調査研究事業

男女共同参画社会の形成を推進するため、現状を把握し、問題解決への道を探るための調査研究を行いました。

事業名	地域課題調査・研究事業
内 容	県内の男女共同参画を推進するため、地域の課題の把握やその解決方法に関する調査・研究を公募し、実施しました。 テーマ：「福島県浜通りに居住する女性高齢者の災害時の避難行動意図に関する調査研究」 研究代表者：福島県立医科大学保健科学部作業療法学科講師 浅尾 章彦氏

### 3 自立促進事業

#### (1) 普及啓発事業

男女共同参画に関する講座や講演会などを開催し、男女平等に向けた意識変革をしながら、男女が互いに個人として自立し、責任を担う力を持つて共に社会参画できるよう支援しました。

事業名	男女共生地域連携意見交換会
対象者	県内の学生
内 容	「女性の政治参画」をテーマとし、若年女性が政治を身近に感じ、関心を高めることを目指して、県内市町村の女性議員と館長の意見交換を県内の大学等と連携して実施しました。 「未来館トークサロン」 (1) 開催日：令和4年11月16日（水） 出席者：会津大学短期大学部学生等 25名 会 場：会津大学短期大学部 (2) 開催日：令和4年11月30日（水） 出席者：桜の聖母短期大学、福島大学、福島学院大学学生等 17名 会 場：福島市男女共同参画センター

事業名	男女間における暴力の防止と被害者支援事業
対象者	県民
内 容	県民を対象とし、社会的弱者になりがちな女性や子どもの暴力や虐待被害の予防を図るための啓発事業として、講演会を実施しました。 ※オンライン実施

	<p>開催日：令和4年11月12日（土）</p> <p>講 師：鴻巣 麻里香 さん（非営利団体 KAKECOMI 代表）</p> <p>内 容：講演会「『ちょっと困っている』への気づきから孤立を防ぐ ～傷つきからの回復を支援する家と逃げ場所の試み」</p> <p>参加者：20名</p>
--	---

事業名	ダイバーシティ理解促進事業
対象者	県民
内 容	<p>性的マイノリティをテーマに、ダイバーシティの考え方についての理解を深め、多様性を認める社会の実現を目指した講演会を開催しました。</p> <p>※オンライン配信</p> <p>開催日：令和4年7月1日（金）～7月11日（月）</p> <p>参加者：73名</p> <p>内 容：講演会「性の多様性/LGBTQと子どもたち」</p> <p>講 師：遠藤 まめた氏（一般社団法人にじーず代表）</p>

事業名	市町村男女共同参画促進事業
対象者	県民
内 容	<p>市町村等における男女共同参画推進のため、男女共同参画に関するパネルの貸出を実施したほか、市町村男女共同参画計画策定及び改定、事業等に関する支援を実施しました。</p> <p>（パネルの貸与）</p> <p>○石川町：令和4年 9月 1日（木）～10月18日（火）</p> <p>○西会津町：令和4年10月23日（日）～11月27日（日）</p> <p>（計画策定・改定、事業等に関する支援）</p> <p>対象：7町村</p> <p>（檜枝岐村、矢吹町、石川町、三春町、小野町、広野町、飯館村）</p>

事業名	キラっ人さん活躍促進事業
対象者	県内企業の経営者・管理職等、大学、短期大学、専門学生等の若い世代の県民
内 容	<p>（1）講演会及びトークセッション</p> <p>女性活躍促進に向けた気運の醸成や、職場・家庭における男女の意識改革を進めるため、女性活躍や働き方改革をテーマとした講演会及びトークセッションを開催しました。※会場及びオンライン実施</p> <p>開催日：令和4年9月8日（木）</p> <p>会 場：福島県男女共生センター</p> <p>参加者：237名（会場87名・オンライン150名）</p> <p>①講演会</p> <p>「男性育休が女性活躍推進にもたらす価値」</p> <p>講師：山田 実和氏（積水ハウス株式会社 ESG 経営推進本部 執行役員 ダイバーシティ推進部長）</p>

	<p>②トークセッション  <b>「女性活躍推進におけるマネジメントの役割」</b>          講演会終了後、講師を交え福島県知事、県内で活躍している女性、女性活躍等に取り組んでいる県内企業の代表者によるトークセッションを開催しました。</p> <p>出演者：佐藤藍子氏(福島トヨペット株式会社 代表取締役副社長)          遠藤順一氏(福浜大一建設株式会社 取締役総務部長)          山田実和氏(積水ハウス株式会社 ESG 経営推進本部 執行役員 ダイバーシティ推進部長)          内堀 雅雄(福島県知事)</p> <p>(2) ライフデザインセミナー</p> <p>本県の将来を担う若い世代である大学、短期大学、専門学校などの学生等を対象に、ライフステージごとの生き方、仕事と家庭生活の両立など「自分らしい生き方・働き方」を選択できる能力を培うことのできるセミナーを開催しました。</p> <p>実施状況：</p> <p>①学校法人今泉学園 今泉女子専門学校          専門課程生 17名          令和4年11月11日（金）          「ダイバーシティを自分事化する大切さ」          鶴谷 恭子氏（株式会社ケイリーパートナーズ代表取締役 COO）</p> <p>②FSG 国際ビジネス公務員大学校          公務員科1年生 44名          令和4年11月21日（月）          「移住・転入女性が暮らしやすい福島を目指して」          藤本 菜月氏（一般社団法人 tenten 代表理事）</p> <p>③福島大学 行政政策学類 ※オンライン実施          1年生（坂本恵教授担当英語クラス）45名          令和4年11月25日（金）          「ダイバーシティを自分事化する大切さ」          鶴谷 恭子氏（株式会社ケイリーパートナーズ代表取締役 COO）</p> <p>④福島工業高等専門学校 都市システム工学科※オンライン実施          4年生 38名          令和4年12月14日（水）          「自分の生き方・働き方」「女性活躍の取組みと働きやすい職場」          橋 あすか氏（福島インフォメーションリサーチ＆マネジメント 代表取締役）          渡邊 まど香氏（福島インフォメーションリサーチ＆マネジメント 企画営業）</p> <p>⑤福島学院大学 短期大学部情報ビジネス学科 2年生 15名          令和5年1月23日（月）          「ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画」          横田 智史氏（株式会社ペンギンエデュケーション代表取締役）</p> <p>内 容：</p>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフデザインに関する現状についての講義</li> <li>・ロールモデルによる講話</li> <li>・グループトーク（参加者同士による意見交換と発表）</li> </ul> <p>(3) キラっ人さん育成塾 ※新規</p> <p>職場でリーダー・管理職を目指す女性の研修や交流の機会として、業務に役立つ講座を開催し、様々な企業や団体に所属する女性同士のネットワークづくりを図る。</p> <p>内容：「メンバーの満足感を高め、目標を達成するためのチームワーク」</p> <p>全4回開催（連続講座）※第1～3回オンライン実施</p> <p>講師：サイボウズ株式会社 なかむら アサミ氏</p> <p>第1回 令和4年9月29日(木) 参加者18名 「そもそもチームとは～チームに必要な要素を学ぶ」</p> <p>第2回 令和4年10月6日(木) 参加者17名 「チームに必要なコミュニケーション」</p> <p>第3回 令和4年10月13日(木) 参加者14名 「チームに必要な情報共有と問題解決手法」</p> <p>第4回 令和4年10月21日(金) 参加者18名 「チームで問題解決する（実践）、交流会」</p>
--	--

事業名	次世代スクールプロジェクト事業
対象者	県内小学生、中学生、高校生
内 容	<p>県内小・中・高校と連携し、互いの性と人権を尊重することの大切さや自分らしさを發揮する大切さを考えるための連携授業を実施しました。</p> <p>（実施校12校、実施回数27回、参加者1,157名）</p> <p>○連携授業 ※講師はセンター職員</p> <p>(1) 聖光学院高等学校</p> <p>開催日：令和4年6月2日（木）</p> <p>参加者：1年生（16名）</p> <p>内 容：男女共同参画・多様な性</p> <p>(2) 福島県立喜多方高等学校</p> <p>開催日：令和4年6月10日（金）</p> <p>参加者：1年生（122名）</p> <p>内 容：男女共同参画・性別にとらわれないキャリア形成</p> <p>(3) 福島県立小野高等学校</p> <p>開催日：令和4年7月8日（金）</p> <p>参加者：3年生（11名）</p> <p>内 容：男女共同参画・多様な性</p> <p>(4) 福島県立安達高等学校</p> <p>開催日：令和4年7月12日（火）※第1～3回</p> <p>令和4年7月13日（水）※第4回</p> <p>参加者：1年生（139名）</p> <p>内 容：多様な性</p>

	<p>(5) 本宮市立岩根小学校</p> <p>開催日：令和4年9月26日（月）※第1～3回 令和4年9月27日（火）※第4、5回</p> <p>参加者：2年生（68名）、1年生（47名）</p> <p>内 容：ジェンダー</p> <p>(6) 福島県立会津西陵高等学校</p> <p>開催日：令和4年10月20日（木）</p> <p>参加者：教員（31名）</p> <p>内 容：多様な性</p> <p>(7) いわき市立磐崎中学校</p> <p>開催日：令和4年11月18日（金）</p> <p>参加者：1年生（89名）、教職員・保護者（50名）</p> <p>内 安：男女共同参画・多様な性</p> <p>(8) 福島県立いわき湯本高等学校遠野校舎</p> <p>開催日：令和4年11月22日（火）</p> <p>参加者：3年生（44名）</p> <p>内 容：デートDV</p> <p>(9) 福島県立会津工業高等学校</p> <p>開催日：令和4年12月8日（木）※第1～4回 令和4年12月9日（金）※第5、6回</p> <p>参加者：3年生（214名）</p> <p>内 容：ハラスメント</p> <p>(10) 福島県立安達高等学校</p> <p>開催日：令和4年12月13日（火）※第1、2回 令和4年12月14日（水）※第3回 令和4年12月15日（木）※第4回</p> <p>参加者：2年生（120名）</p> <p>内 容：デートDV</p> <p>(11) 喜多方市立姥堂小学校</p> <p>開催日：令和4年12月23日（金）</p> <p>参加者：教員（10名）</p> <p>内 容：学校における男女共同参画、スクールセクシュアルハラスメント</p> <p>(12) 福島県立いわき光洋高等学校</p> <p>開催日：令和5年2月21日（火）</p> <p>参加者：1年生（196名）</p> <p>内 容：男女共同参画・多様な性</p>
--	---

事業名	交流室ロッカー・交流展示スペース管理・運営
対象者	県民
内 容	<p>男女共同参画社会の推進を目的とした活動を行う団体等に、ロッカーと活動の成果品を展示する場の貸し出しの他に、男女共同参画推進を目的とした広報物の展示等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流室ロッカー貸出件数 5件</li> </ul>

	・交流展示スペース貸出件数（のべ） 5件
事業名	男女共同参画週間パネル展 ※自主
対象者	県民
内 容	<p>男女共同参画週間（6／23～6／29）に併せて、男女共同参画やワーク・ライフ・バランス、イクボス等をテーマとした啓発パネルを展示了しました。</p> <p>開催日：令和4年6月22日（水）～6月29日（水）</p>
事業名	コロナ禍における女性のつながりサポート事業
対象者	生活に困難や不安を抱える女性
内 容	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困難や不安を抱える女性が社会との絆やつながりを回復できるよう、相談の拡大実施と支援体制の強化を図りました。</p> <p>(1) 男女共生センター相談の拡大実施          ①専門相談「生活設計相談」（6回）          ②専門相談「法律相談」（1回）          専門相談「女性のためのカウンセリング」（1回）</p> <p>(2) NPO等団体による支援の実施          NPO等団体に委託し、電話相談、居場所の提供、出張相談、訪問相談、生理用品等の提供を行いました。</p> <p>相談件数：1, 594件          (委託団体)          ・社会福祉法人福島敬香会（県北）          ・NPO法人しんぐるべあれんとF・福島（県中）          ・KAKECOMI（県南）          ・NPO法人寺子屋方丈舎（会津）          ・NPO法人あさがお（相双）          ・NPO法人Commune with 助産師（いわき）</p> <p>(3) 生理用品の提供          男女共生センター及び青少年会館の女性トイレに生理用品を配置するとともに、生活に不安や困難を抱える女性等に男女共生センター相談室・福祉機器展示室・受付、チャレンジ支援相談コーナー（郡山・会津・いわき相談コーナー）、青少年会館において生理用品を配布しました。</p> <p>また、市町村や大学・短大、専修学校、子ども食堂を通じて生理用品を配布しました。</p> <p>(4) 相談員等研修会          女性の支援に関わる相談員等が、女性に寄り添った相談を行うための研修会を開催しました。</p> <p>○第1回          開催日：令和4年8月25日（木）          会場：第2研修室          参加者：12名          内容：女性の支援に求められる傾聴を学ぶ</p>

	<p>講師：安部 郁子氏（福島大学大学院人間発達研究科特任教授）</p> <p>○第2回 ※オンライン実施</p> <p>開催日：令和4年12月8日（木）</p> <p>参加者：32名</p> <p>内容：精神疾患を持つ相談者への相談対応</p> <p>講師：畠 哲信氏（福島県精神保健福祉センター所長）</p> <p>○第3回 ※オンライン実施</p> <p>開催日：令和5年2月9日（木）</p> <p>参加者：12名</p> <p>内容：安心・安全な相談支援のための相談システムと相談員のケア</p> <p>講師：丹羽 麻子氏（NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会 認定フェミニストカウンセラー）</p>
--	--

事業名	国際女性会議 WAW! 2022 福島サテライト会場 ※新規
対象者	県民
内 容	<p>国際女性会議 WAW! 2022（主催：外務省）の一部をオンライン視聴できるサテライト会場を設置しました。</p> <p>また、福島県独自の企画としてパネルディスカッションを開催しました。</p> <p>開催日：令和4年12月3日（土）</p> <p>参加者：61名</p> <p>(1) 国際女性会議 WAW! 2022 オンライン視聴</p> <p>東京会場（対面実施）で行われている「開会式」、「基調講演」、「ハイレベル・ラウンド・テーブル」、「分科会5 意思決定プロセスへの女性の参画」、「分科会10 女性と防災」（県内の女子学生や女性団体の事例発表がありました）、「閉会式」の様子をオンライン視聴しました。</p> <p>(2) パネルディスカッション</p> <p>「福島から始める女性活躍社会」をテーマとして、出演者の実践活動を発表いただき、女性が活躍できる社会づくりのために何ができるか等について話し合いました。</p> <p>出演者：前川 直哉氏（福島大学 教育推進機構高等教育企画室 准教授） ※モデレーター</p> <p>平野 典子氏（公益財団法人仁泉会 統括看護部長 北福島医療センター 副院長・看護部長）</p> <p>佐藤 春奈氏（北福島医療センター 看護師長）</p> <p>スタルジンスカヤ・ナスタッシャ氏（川俣町地域おこし協力隊）</p> <p>佐藤 輝明氏（福島トヨペット株式会社 組織開発担当課長）</p> <p>マクマイケル・ウィリアム氏（福島大学国際交流センター 副センター長）</p>

## （2）研修事業

男女共にその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を發揮することがで

きる男女共同参画社会に向け、家庭や仕事、地域活動などの生活のあらゆる場面においてその実現を阻害する固定的性別役割分担意識を解消するための事業や、男女のライフスタイルや社会情勢の変化に伴い多様化する課題・ニーズに合わせ個人が自発的に課題解決を図ることができるようエンパワーメントする事業を開催しました。

事業名	未来館エンパワーメント塾
対象者	働いている（これから働きたい）女性
内 容	<p>女性活躍を推進するため、女性が職場や地域でリーダーになることを前向きに捉え、自身の能力・スキルに自信を持って活躍できるよう女性の人材育成を図るためのセミナーを開催しました。 「働き女子のごほうびセミナー」</p> <p>○第1回 ※オンライン実施</p> <p>開催日：①令和4年6月18日(土)、②令和4年7月2日(土)</p> <p>参加者：①16名、②13名</p> <p>内 容：「自己主張（アサーティブ）トレーニング」</p> <p>講 師：丹羽 麻子氏 (NPO法人日本フェミニストカウンセリング学会認定カウンセラー)</p> <p>○第2回 ※オンライン実施</p> <p>開催日：令和4年7月16日(土)</p> <p>参加者：16名</p> <p>内 容：「想いが伝わる表現力を身につける」</p> <p>講 師：山田 ズーニ一氏 (文章表現インストラクター、教育書の作家、慶應義塾大学非常勤講師)</p> <p>○第3回 ※オンライン実施</p> <p>開催日：令和4年9月24日(土)</p> <p>参加者：11名</p> <p>内 容：「仕事も人生も前向きに生きるためのマインドフルネス」</p> <p>講 師：朝野 かおり氏 (しあわせリーダーズ合同会社協働代表)</p>

事業名	男性のための男女共同参画基礎講座
対象者	県内企業の管理職、社員、県民
内 容	<p>男女が、年齢や性別に関わらずさまざまな分野で活躍するため、職場や家庭、地域において男女共同参画の視点による「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の取れた生き方について考える機会を提供し、企業や個人の課題解決・実践を支援しました。</p> <p>○イクボス養成講座 ※オンライン実施</p> <p>開催日：令和5年1月20日(金)</p> <p>参加者：48名</p> <p>内 容：講演「誰もが活躍できる組織へ！ “イクボス式”マネジメント講座」</p> <p>講 師：川島 高之氏 (NPO法人ファザーリング・ジャパン理事)</p> <p>○「イクボス講座実践編～ワーク・ライフ・バランスの推進に向けて～」 ※新規</p> <p>開催日：令和5年3月16日(木)</p> <p>参加者：7社9名</p>

	<p>会 場：福島県男女共生センター</p> <p>講師・コーディネーター：横田 智史氏（株式会社ペンギンエデュケーション代表取締役）</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○講義 ワーク・ライフ・バランスに関する基本的な考え方やその必要性とメリット、職場作りなどについて</li> <li>○討議 各参加企業等の取組みや課題についての発表と横田氏のアドバイス等</li> </ul>
--	--

事業名	女性のチャレンジ応援講座
対象者	これから起業をしたい女性、起業に興味のある女性
内 容	<p>起業への心構えやその方法、魅力あるサービスや商品づくり等について学ぶ講座を開催しました。</p> <p>開催日：令和4年8月20日（土） ※オンライン実施</p> <p>参加者：8名</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション 講師：重巣 敦子氏 (キャリアコンサルタント、リファインアカデミー株式会社 代表取締役、東北起業女性応援ネットワーク事務局)</li> <li>○起業家紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・㈱キャンディきつず代表 山野辺 みゆき氏（子育て支援事業）</li> <li>・腸もみサロン YOLL 代表 杉内 晴美氏（健康促進・サロン事業）</li> <li>・プライベートサロン MIEL 代表 二瓶 曜子氏（美容・エステ業）</li> <li>・ハンドメイド雑貨店+room と Candy のお店代表 鈴木 志緒里氏（ハンドメイド・小売業）</li> <li>・輝磨代表 佐藤 朋子氏（講師・コンサル業）</li> </ul> </li> <li>※コーディネーター 重巣 敦子氏</li> <li>○グループセッション 起業や運営等に関する起業家と参加者の意見交換</li> </ul>

事業名	教師のための次世代育成人権セミナー
対象者	県内の教職員、教育事務所並びに市町村教育委員会・男女共同参画推進部局の関係者
内 容	<p>教職員等を対象とし、人権や男女共同参画の正しい認識を深めるとともに、児童生徒への指導実践に資する講座を開催しました。</p> <p>※オンライン配信</p> <p>配信期間：令和4年8月19日（金）～9月9日（金）</p> <p>参加者：22名</p> <p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○講義「学校における男女共同参画」 講 師：津田 理恵（福島県男女共生センター副主査）</li> </ul>

	<p>○模擬授業 講 師：津田 理恵（福島県男女共生センター副主査）</p> <p>○講演 演題：「ジェンダーについて学ぼう：教員が学び、子どもと一緒に考える意義」 講師：片田 孫 朝日氏（灘中学校・高等学校） ※福島県教育委員会との共催事業として開催</p>
--	--

事業名	研修講師派遣事業
対象者	県民
内 容	<p>市町村、企業やNPO等の市民団体が実施する男女共同参画を推進する研修及び学習会等に当センター職員等を派遣するほか、外部講師の情報提供を行い、地域における男女共同参画社会実現に向けた取組を支援しました。</p> <p>(1) 職員派遣 派遣回数：10回（参加者数：433名）</p> <p>(2) アドバイザー派遣 派遣回数： 5回（参加者数：803名）</p>

事業名	市町村男女共同参画担当者研修
対象者	市町村担当者
内 容	<p>(1) 市町村男女共同参画担当者研修 ※オンライン実施 開催日：令和4年6月9日（木） 参加者：32名（26市町村29名、県振興局3名）</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○開会あいさつ 中村 英康氏（県生活環境部男女共生課 課長）</li> <li>○講義「男女共同参画社会って何？」 講 師：千葉 悅子（福島県男女共生センター 館長）</li> <li>○福島県男女共生課からのお知らせ 担 当：岡部 聰氏（県生活環境部男女共生課 副主査）</li> <li>○福島県男女共生センターからのお知らせ 担 当：センター職員</li> <li>○グループトーク 担当業務の課題等についての意見交換</li> </ul> <p>(2) 市町村男女共同参画担当者会議 ※オンライン実施 開催日：令和5年2月10日（金） 参加者：26名（23市町村23名、郡山市男女共同参画センター1名、県振興局2名）</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ 中村 英康氏（県生活環境部男女共生課 課長）</li> <li>○福島県男女共生課からのお知らせ 担 当：岡部 聰氏（県生活環境部男女共生課 副主査）</li> <li>○福島県男女共生センターからのお知らせ 担 当：センター職員</li> </ul>

	<p>○男女共同参画推進の取組について</p> <p>①実践事例紹介          「自分のまちで男女共同参画を推進するために」          発表者：片野 千春氏          (白河市教育委員会 生涯学習スポーツ課生涯学習係 主査)</p> <p>②グループトーク          市町村が実施した女性のキャリア形成、男性の家事参画に関する事業の成果や工夫点の共有、今後の取組についての意見交換</p> <p>(3) 市町村男女共同参画担当者グループトーク ※オンライン実施</p> <p>○第1回          開催日：令和4年6月9日（木）          【市町村男女共同参画担当者研修内実施】</p> <p>○第2回          開催日：令和4年8月18日（木）          参加者：16名（15市町村16名）          内容：          ①事例発表          「男女共同参画プランのあらまし」          発表者：岡部 聰氏（県生活環境部男女共生課 副主査）          「南会津町男女共同参画プラン改定のポイントとその後」          発表者：酒井 来武氏          (南会津町教育委員会 生涯学習課生涯学習係 副主査)</p> <p>②グループトーク          「①プラン策定・改定までの流れ」「②プランに基づいた事業実施」のテーマについての意見交換</p> <p>○第3回          開催日：令和4年10月12日（水）          参加者：18名（16市町村17名、1地方振興局）          内容：          ①事例発表          「こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議について」          発表者：円谷 あゆみ氏          (郡山市市民部男女共同参画課 主査)</p> <p>②グループトーク          次年度の男女共同参画事業の課題や今後の展望などのについての意見交換</p> <p>○第4回          開催日：令和5年2月10日（金）          【市町村男女共同参画担当者会議内実施】</p>
--	---

事業名	復興・防災と男女共同参画に関する人材育成事業
対象者	自治体職員、社会福祉協議会職員
内容	(1) 男女共同参画の視点からの防災研修 ※オンライン実施 「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」「災害対応力を強

	<p>化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」（共に内閣府男女共同参画局作成）や避難所運営シミュレーションツール「さすけなぶる」（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター作成）を用いて、地域における復興・防災における男女共同参画の推進を担う人材育成研修を行いました。</p> <p>開催日：令和4年12月15日（木）</p> <p>参加者：30名（11市町村28名、2振興局2名、県災害対策課2名）</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①講義「復興防災における男女共同参画・多様性の視点の必要性」 担当：センター職員</li> <li>②事例発表 発表者：ico. 氏（イラストレーター・防災士）</li> <li>③グループワーク「さすけなぶる」 講 師：北村 育美氏（福島大学地域未来デザインセンター客員研究員）</li> </ul> <p>（2）多様性配慮の視点での防災・減災</p> <p>地域防災組織等メンバーを対象として、男女共同参画及び多様性配慮の視点による防災ワークショップ等を行いました。</p> <p>○第1回</p> <p>開催日：令和4年8月24日（水）</p> <p>会 場：南相馬市役所 東庁舎2階 第1会議室</p> <p>参加者：13名（南相馬市男女共同参画プラン推進会議委員）</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①講演 「復興・防災と男女共同参画」 担当：センター職員</li> <li>「多様性視点での復興防災」 講 師：北村 育美氏（福島大学地域未来デザインセンター客員研究員）</li> <li>②グループワーク「さすけなぶる」 講 師：北村 育美氏</li> </ul> <p>○第2回</p> <p>開催日：令和4年11月25日（金）</p> <p>会 場：福島県男女共生センター</p> <p>参加者：13名（横浜市磯子区災害ボランティアネットワーク）</p> <p>内 容：「多様性視点での復興防災」 担当：センター職員</p>
--	--

事業名	再生・復興女性リーダー育成事業
対象者	復興やコミュニティづくりの活動を行っている女性（男性も参加可）
内 容	復興のあらゆる場や組織への女性の参画拡大を図るため、地域において福島の再生・復興を担う女性のネットワーク構築や参加者各自の活動事例などの情報交換等を行いました。 ※オンライン実施

	<p>開催日：（1）令和4年8月6日（土）            （2）令和4年12月10日（土）</p> <p>参加者：（1）8名            （2）11名</p> <p>事例発表者：</p> <p>（1）秋元 菜々美氏（「ふたばいんふお」スタッフ）            （2）大場 美奈氏（広野町クラシノガッコウ月とみかん代表）</p> <p>コーディネーター：北村 育美氏</p> <p>（福島大学地域未来デザインセンター客員研究員）</p>
--	--

事業名	未来館女性活躍サポート事業 ※自主
対象者	起業及びセミナー等講師を始めたい女性
内 容	<p>起業及びセミナー等講師を始めたい女性が主催するセミナー等について、センター会場の提供、広報の協力、セミナーの運営協力を行いました。</p> <p>「講師デビュー支援事業」</p> <p>採用件数：4件</p> <p>採択企画：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「Happy Friday オンライン英会話」</li> <li>②「養生ヨガ講座」</li> <li>③「やさしい日本語はじめの一歩」</li> <li>④「ときめきお守りノート作成講座」</li> </ul>

### (3) 相談事業

男女が自立し、生き生きとして生きがいのある人生を送ることができるよう、日常生活から生じる様々な問題や悩みに関する相談や、配偶者からの暴力(ドメスティックバイオレンス)に関する相談及びこれらに関する情報提供を行いました。

事業名	一般相談
対象者	県民
内 容	<p>性別にとらわれず生き生きと生きていくために、広く生活全般に係る相談を行いました。</p> <p>相談内容：広く生活全般に関する相談            配偶者等からの暴力に関する相談            男性相談員による相談</p> <p>相談方法：電話・面接</p> <p>相 談 員：男女共生相談員（嘱託職員）2名、男性相談員1名</p> <p>相談件数：1, 266件</p>

事業名	専門相談
対象者	県民 ※カウンセリングは女性限定
内 容	<p>法律問題や健康に関することについて、専門家による相談を行いました。</p> <p>相談内容：法律相談（月1回、2時間）相談件数 27件</p>

	<p>健康相談「女性による女性のためのカウンセリング」          (月2回、各回一人1時間程度)          相談件数 10件</p> <p>女性のための生活設計相談(年4回) 相談件数 5件          相談方法:面接(予約制)</p> <p>相談員:法律相談 弁護士          健康相談(カウンセリング) 女性臨床心理士          生活設計相談 ファイナンシャルプランナー</p>
--	--

事業名	チャレンジ支援相談
対象者	内職や就業(再就職)を希望する女性等
内容	<p>内職希望者からの相談や内職求人受付、あっせんのほか、女性の就業援助に関する相談、情報提供を行いました。</p> <p>相談方法:電話・面接          相談員:女性就業援助相談員(嘱託職員)          ※配置個所 男女共生センター及び県内3ヶ所(郡山、会津若松、いわきの県地方振興局内)に相談コーナーを設置</p> <p>相談件数:1,033件          内職あっせん者数:200名</p>

#### (4) 介護実習・普及センター事業

高齢者介護の実習等を通じて、地域住民への基礎知識、介護技術の普及を図るとともに、「高齢化社会は国民全体で支えるもの」という考え方を地域住民に広く啓発する事業を実施するほか、福祉用具の展示並びに住宅改修を含めた相談体制の整備等を行いました。

事業名	介護実習・普及事業
対象者	県民、介護専門職員
内容	<p>介護の実習等を通じて、県民への介護知識、介護技術の普及を図るために、社会福祉法人福島県社会福祉協議会に業務を委託して各種講座等を実施しました。</p> <p>(1) 県民介護講座の実施          初級介護講座、介護ワンポイント講座、介護実技基本講座、オーダーメイド介護講座、認知症サポーターキャラバン関連研修          実施講座数:44回、44日          参加者数:1,202名</p> <p>(2) 地域介護専門職員研修の実施(介護専門職員を対象)          企画力アップ研修、相談援助面接研修、福祉用具・住宅改修研修、排泄ケア研修、ピンポイント介護技術研修          実施講座数:15回、25日          参加者数:251名</p> <p>(3) 介護セミナー ※オンライン実施          「ヤングケアラーを関係者が支えるために～子どもが気持ちを表出できる地域社会づくり～」          開催日:令和5年2月1日(水)</p>

	<p>参加者数：225名</p> <p>(4) 福島県介護研修事業検討委員会の開催 ※オンライン実施 開催日：令和4年12月9日（金）</p>
--	---

事業名	福祉用具・住宅改修普及支援事業
対象者	県民
内 容	<p>(1) 福祉機器展示室の運営</p> <p>福祉機器展示室において、各種用具を展示するとともに、福祉機器企画相談員（嘱託職員2名）を配置し、一般県民からの福祉用具・住宅改修に関する相談を受け、助言指導を行いました。</p> <p>来所者数：2,658名</p> <p>相談件数：141件（相談内容件数185件）</p> <p>相談内容：移動機器（38件）、パーソナルケア関連（35件）</p> <p>(2) 福祉用具・住宅改修普及支援協議会の開催 ※オンライン実施</p> <p>福祉用具・住宅改修の普及事業の円滑な実施を図るため、理学療法士、作業療法士、建築士、福祉用具取扱業者、行政関係者からなる協議会を開催し、優良な機器の選考・展示方法及び住宅改修相談等について検討を行いました。</p> <p>開催日：令和4年12月9日（金）</p>

#### 4 交流関連事業

##### (1) 交流関連事業

県民が、主体的に男女共同参画についての問題に取り組む実践的活動拠点としての機能を発揮するため、自主的な交流の場として男女共生センターを提供するとともに、男女の平等と自立を目指す個人や様々な団体・グループ間の相互交流を促進するための事業を実施しました。

事業名	未来館フェスティバル
対象者	県民
内 容	<p>男女共同参画社会の意識啓発を図るとともに、県民相互の交流を促進するため、未来館フェスティバルを開催しました。</p> <p>※オンライン実施</p> <p>(1) シンボルイベント</p> <p>開催日：令和4年9月10日（土）</p> <p>内 容：講演「人生はああもこうも生きられる～幸せな生き方は自分でつくる～」</p> <p>講 師：小島 慶子氏（エッセイスト、東京大学大学院情報学環客員研究員）</p> <p>参加者：137名</p> <p>(2) 県民参加企画</p> <p>内 容：特設サイト内における県内団体の活動紹介</p> <p>期 間：令和4年9月1日（木）～10月31日（月）</p> <p>参加数：28団体</p> <p>(3) 交流会</p>

	開催日：令和4年10月22日（土） 参加者：17名
--	------------------------------

事業名	男女共生次世代交流会
対象者	県内の大学、専門学校の学生等
内 容	<p>若者世代を対象として、ライフステージごとの生き方、女性が継続して働くことなど、男女共同参画や女性の活躍推進のテーマ等での学習や参加者同士の交流を図る機会を提供しました。</p> <p>「ふくしま “けんせつ・どぼく女子” 座談会」</p> <p>内 容：県内の建設・土木会社で働く女性から、仕事の魅力・やりがいや一日の生活の様子などを聞き、働く女性交えた意見交換を行いながら、女性が建設・土木業界で働く意欲の向上や学生同士のネットワークづくりを行いました。</p> <p>①郡山会場 開催日：令和4年12月14日（水） 会 場：郡山女子大学 参加者：25名（生活科学科 建築デザイン専攻 2・3年生）</p> <p>②いわき会場 ※オンライン実施 開催日：令和4年12月20日（火） 参加者：18名（福島工業高等専門学校 都市システム工学科 3年生）</p>

事業名	民間団体支援事業
対象者	県内で活動中または活動予定のグループ・団体
内 容	<p>「男女共生を進めるための民間企画応援事業」</p> <p>県内のNPO等のグループが主体となって自主的に企画・実施する講座やワークショップ等を公募して、センターが企画・広報・チラシ作成の協力、会場・設備等の提供、運営協力等の支援を行いました。</p> <p>採択件数：4件</p> <p>採択企画（団体）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①デートDV相談ダイヤル (NPO法人ウイメンズスペースふくしま)</li> <li>②腰抜かして場合じやない展 (福島テルサ)</li> <li>③女性行政書士による女性のための無料相談会 (福島県行政書士会)</li> <li>④包括的性教育の普及・啓発事業 (セクシュアリティ教育研究会)</li> </ul>

## 事業報告付表1

## 福島県男女共生センター施設利用状況

		日数基準		区分(定員)基準		収入額(円)	前年比 (円、%)
		可能室数	使用室数	可能区分数	使用区分数		
令和4年4月	研修室	286 室 前年比 124.4 %	107 室 37.4 %	814 室 前年比 127.8 %	170 室 20.9 %	307,720	21,000 107.3%
	宿泊室	484 室 前年比 104.4 %	94 室 19.4 %	1,100 人 前年比 125.7 %	127 人 11.5 %	364,000	60,000 119.7%
令和4年5月	研修室	286 室 前年比 118.8 %	95 室 33.2 %	803 室 前年比 106.4 %	149 室 18.6 %	385,620	170,500 179.3%
	宿泊室	462 室 前年比 64.4 %	56 室 12.1 %	1,050 人 前年比 61.2 %	74 人 7.0 %	364,900	-171,200 68.1%
令和4年6月	研修室	286 室 前年比 100.0 %	137 室 47.9 %	814 室 前年比 89.3 %	242 室 29.7 %	467,840	-19,360 96.0%
	宿泊室	484 室 前年比 34.4 %	89 室 18.4 %	1,100 人 前年比 36.0 %	96 人 8.7 %	399,500	-431,000 48.1%
令和4年7月	研修室	297 室 前年比 93.3 %	139 室 46.8 %	847 室 前年比 89.7 %	270 室 31.9 %	331,100	-343,420 49.1%
	宿泊室	506 室 前年比 114.5 %	166 室 32.8 %	1,150 人 前年比 109.2 %	189 人 16.4 %	712,800	-196,600 78.4%
令和4年8月	研修室	286 室 前年比 107.8 %	111 室 38.8 %	814 室 前年比 103.6 %	201 室 24.7 %	857,768	107,328 114.3%
	宿泊室	484 室 前年比 215.6 %	235 室 48.6 %	1,100 人 前年比 219.4 %	283 人 25.7 %	928,400	527,200 231.4%
令和4年9月	研修室	286 室 前年比 127.0 %	141 室 49.3 %	814 室 前年比 139.2 %	277 室 34.0 %	387,240	-99,800 79.5%
	宿泊室	484 室 前年比 226.7 %	195 室 40.3 %	1,100 人 前年比 221.0 %	221 人 20.1 %	757,000	243,500 147.4%
令和4年10月	研修室	286 室 前年比 93.6 %	131 室 45.8 %	803 室 前年比 91.2 %	239 室 29.8 %	363,400	-199,540 64.4%
	宿泊室	462 室 前年比 157.4 %	148 室 32.0 %	1,050 人 前年比 160.3 %	194 人 18.5 %	993,050	510,450 205.8%
令和4年11月	研修室	286 室 前年比 95.1 %	137 室 47.9 %	814 室 前年比 92.6 %	251 室 30.8 %	479,080	-166,170 74.2%
	宿泊室	484 室 前年比 119.6 %	189 室 39.0 %	1,100 人 前年比 125.8 %	229 人 20.8 %	941,400	386,100 169.5%
令和4年12月	研修室	264 室 前年比 94.4 %	119 室 45.1 %	737 室 前年比 88.9 %	209 室 28.4 %	391,120	-134,620 74.4%
	宿泊室	418 室 前年比 66.9 %	83 室 19.9 %	836 人 前年比 76.3 %	100 人 12.0 %	544,500	-207,400 72.4%
令和5年1月	研修室	264 室 前年比 116.1 %	108 室 40.9 %	748 室 前年比 134.4 %	203 室 27.1 %	419,840	137,480 148.7%
	宿泊室	440 室 前年比 114.8 %	70 室 15.9 %	1,000 人 前年比 137.5 %	88 人 8.8 %	382,200	173,600 183.2%
令和5年2月	研修室	264 室 前年比 118.8 %	114 室 43.2 %	748 室 前年比 115.8 %	191 室 25.5 %	376,052	143,952 162.0%
	宿泊室	440 室 前年比 152.0 %	76 室 17.3 %	1,000 人 前年比 185.5 %	102 人 10.2 %	417,048	120,248 140.5%
令和5年3月	研修室	297 室 前年比 74.4 %	87 室 29.3 %	847 室 前年比 72.7 %	133 室 15.7 %	248,520	-90,200 73.4%
	宿泊室	506 室 前年比 142.9 %	100 室 19.8 %	1,150 人 前年比 178.8 %	143 人 12.4 %	610,700	263,400 175.8%
合計	研修室	3,388 室 前年比 103.2 %	1,426 室 42.1 %	9,603 室 前年比 101.2 %	2,535 室 26.4 %	5,015,300	-471,850 91.4%
	宿泊室	5,654 室 前年比 112.6 %	1,501 室 26.5 %	12,736 人 前年比 121.1 %	1,846 人 14.5 %	7,415,498	1,278,298 120.8%
※宿泊人数は、6歳未満の幼児が寝具を使用しないで宿泊した人数を除く。					収入計	12,430,798	808,448 106.9%

## (事業報告付表2)

## 福島県男女共生センター利用状況

## 1 研修室

施設名	令和4年度					令和3年度						
	使用可能日数	使用日数	日数使用率(%)	使用可能単位数	使用単位数	単位使用率(%)	使用可能日数	使用日数	日数使用率(%)	使用可能単位数		
研修ホール	308	74	24.0	873	149	17.1	308	177	57.5	873	179	20.5
多目的研修室	308	157	51.0	873	256	29.3	308	141	45.8	873	246	28.2
特別会議室	308	72	23.4	873	107	12.3	308	68	22.1	873	99	11.3
第1研修室	308	177	57.5	873	284	32.5	308	186	60.4	873	320	36.7
第2研修室	308	174	56.5	873	359	41.1	308	168	54.5	873	352	40.3
第3研修室	308	172	55.8	873	350	40.1	308	173	56.2	873	331	37.9
第4研修室	308	173	56.2	873	312	35.7	308	173	56.2	873	299	34.2
第5研修室	308	207	67.2	873	395	45.2	308	208	67.5	873	376	43.1
調理室	308	63	20.5	873	87	10.0	308	46	14.9	873	72	8.2
工作室	308	83	26.9	873	131	15.0	308	84	27.3	873	139	15.9
研修用和室	308	74	24.0	873	105	12.0	308	51	16.6	873	92	10.5
合計	3,388	1,426	42.1	9,603	2,535	26.4	3,388	1,475	43.5	9,603	2,505	26.1

## 2 宿泊室

宿泊室	使用可能部屋数	使用部屋数	使用率(%)	使用可能人数	使用人数	使用率(%)	使用可能部屋数	使用部屋数	使用率(%)	使用可能人数	使用人数	使用率(%)
	5,654	1,501	26.5	12,736	1,846	14.5						
							5,654	1,333	23.6	12,724	1,524	12.0

施設名	令和4年度					令和3年度						
	使用可能日数	使用日数	日数使用率(%)	使用可能単位数	使用単位数	単位使用率(%)	使用可能日数	使用日数	日数使用率(%)	使用可能単位数		
研修ホール	308	74	24.0	873	149	17.1	308	177	57.5	873	179	20.5
多目的研修室	308	157	51.0	873	256	29.3	308	141	45.8	873	246	28.2
特別会議室	308	72	23.4	873	107	12.3	308	68	22.1	873	99	11.3
第1研修室	308	177	57.5	873	284	32.5	308	186	60.4	873	320	36.7
第2研修室	308	174	56.5	873	359	41.1	308	168	54.5	873	352	40.3
第3研修室	308	172	55.8	873	350	40.1	308	173	56.2	873	331	37.9
第4研修室	308	173	56.2	873	312	35.7	308	173	56.2	873	299	34.2
第5研修室	308	207	67.2	873	395	45.2	308	208	67.5	873	376	43.1
調理室	308	63	20.5	873	87	10.0	308	46	14.9	873	72	8.2
工作室	308	83	26.9	873	131	15.0	308	84	27.3	873	139	15.9
研修用和室	308	74	24.0	873	105	12.0	308	51	16.6	873	92	10.5
合計	3,388	1,426	42.1	9,603	2,535	26.4	3,388	1,475	43.5	9,603	2,505	26.1